

概要版

第4期 高知県  
地域福祉支援計画



この計画は、社会福祉法第108条に基づき市町村による地域福祉の取組を支援するために策定したもので、分野横断的に県としての対応方針を定めています。

市町村が地域特性や独自性を尊重し、地域住民の皆さんや社会福祉協議会、民生委員・児童委員、民間事業者、NPO法人、社会福祉団体など多様な主体とともに福祉ニーズや地域生活課題に対応しながら地域福祉を進めるための取り組みを支援します。

誰一人取り残さない、  
つながり支え合う高知型地域共生社会



高知県  
令和6年3月

# 第4期高知県地域福

第4期高知県地域福祉支援計画では、これまで取り組んできた「高知型福祉」を継承・その上で、「誰一人取り残さない、つながり支え合う高知型地域共生社会」を計画全体で心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県を目指します。

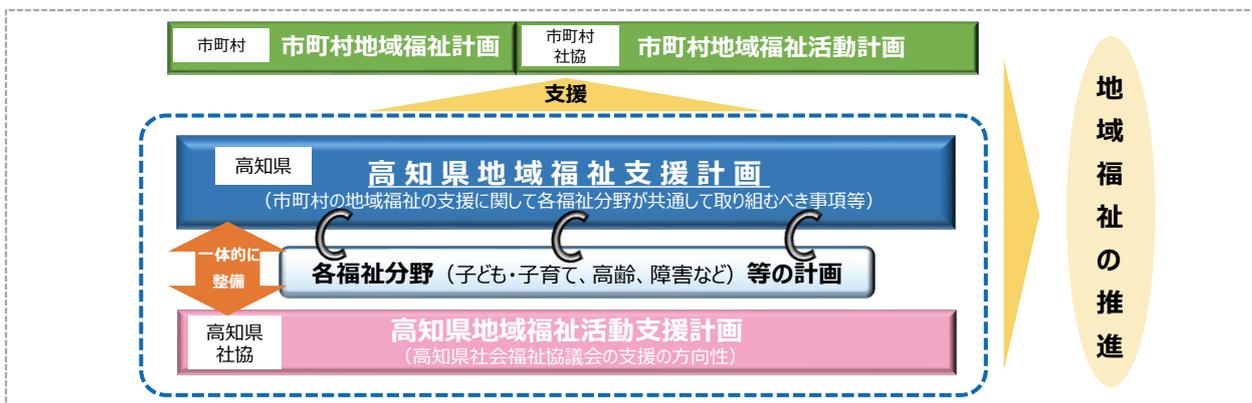
## 目指す姿

県民の誰もが住み慣れた地域で、健やか

【計画の理念】誰一人取り残さない、つな

根拠法令	社会福祉法第108条に基づく法定計画	計画期間	4年間（R6～R9）
計画の位置づけ	<p>本県における地域福祉を推進するための基本方針であるとともに、<b>各福祉分野が共通して取り組むべき事項を記載する福祉分野の上位計画</b>です。</p> <p>計画の策定に当たっては、「日本一の健康長寿県構想」など関係する計画との整合性をとることによって福祉・保健・医療及び生活関連分野との連携を確保します。</p> <p>あわせて、高知県社会福祉協議会が住民や関係者ととともに策定・推進する地域福祉活動支援計画と一体的に策定しています。</p>		
計画策定の目的	<p><b>市町村が</b>地域特性や独自性を尊重し、地域住民の皆さんや社会福祉協議会、民生委員・児童委員、民間事業者、NPO法人、社会福祉団体など多様な主体とともに福祉二一ズや生活課題に対応しながら、<b>地域福祉を進める取り組みを支援</b>します。</p>		

### 【地域福祉支援計画と他計画との関連】



### 【関連する主な計画と計画期間】

分野	計画名	R4	R5	R6	R7	
福祉全般	地域福祉支援計画	現計画（R2～R5）		改定計画（R6～R9）		
子ども・子育て	子どもの貧困対策推進計画	現計画（R2～R6）			改定計画（R7～） ※各計画を包含した「こども計画」を策定（終期含めて検討）	
	子ども・子育て支援事業支援計画、次世代育成支援行動計画	現計画（R2～R6）				
	ひとり親家庭等自立促進計画	現計画（H29～R6）				
高齢	高齢者保健福祉計画	現計画（R3～R5）		改定計画（R6～R8）		
	介護保険事業支援計画	現計画（R3～R5）		改定計画（R6～R8）		
障害	障害者計画	前計画（H25～R4）	現計画（R5～R11）			
	障害福祉計画・障害児福祉計画	現計画（R3～R5）		改定計画（R6～R8）		
	ギャンブル等依存症対策推進計画	現計画（R4～R5）		改定計画（R6～R11）		
	アルコール健康障害対策推進計画	現計画（H30～R5）		※一体的に策定		
その他	自殺対策行動計画	前計画（H29～R4）	現計画（R5～R9）			
	再犯防止推進計画	現計画（R2～R5）		改定計画（R6～R10）		
	中山間地域再興ビジョン	-		新規策定（R6～R9）		
	南海トラフ地震対策行動計画	現計画（R4～R6）			改定計画（R7～R9）	
	教育等の振興に関する施策の大綱	現計画（R2～R5）		改定計画（R6～R9）		

# 社支援計画について

発展させる形で「高知型地域共生社会」の実現」を分野横断的な目標として掲げます。  
の理念とし、各分野の取り組みを推進することで、県民の誰もが住み慣れた地域で、健やか

## で心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県 がり支え合う高知型地域共生社会



### 計画の基本項目

「誰一人取り残さない、つながり支え合う高知型地域共生社会」の理念のもと、「高知型地域共生社会」の「たて糸」と「よこ糸」の2本柱に「人づくり・基盤づくり」を3本目の柱として加え、取り組みを推進します。

【第4期高知県地域福祉支援計画の推進イメージ】

一人ひとりの力をつなげ地域で共に支え合う「高知型地域共生社会」の実現へ

#### 柱1 行政主体の「たて糸」

市町村の多機関協働型の包括的な支援体制の整備の推進



#### 柱2 地域主体の「よこ糸」

つながりを実感できる地域づくり



たて糸とよこ糸で織りなす高知型地域共生社会の拠点としてあつたかふれあいセンターを活用



#### 柱3 人づくり・基盤づくり

福祉教育の推進や福祉・介護人材の確保対策とあつたかふれあいセンターなどの地域資源の活用

### 計画の推進体制

県は、**高知県社会福祉協議会と連携**して、市町村や市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員などの活動状況を踏まえ、意見交換を行いながら施策などに反映します。

また、**取り組みごとに数値目標**を定め、高知県社会福祉審議会に実施状況を報告し、ご意見をいただきながら、計画の効果的な推進を図ります。

加えて、県の「**日本一の健康長寿県構想推進会議**」などにおいて施策の進捗管理を行い、次年度以降の施策に反映します。

### 改定のポイント

- ① 誰一人取り残さない、つながり支え合う高知型地域共生社会の実現を基本理念として掲げ、**オール高知で地域福祉を推進**
- ② **日本一の健康長寿県構想の第5期改定と連動**し、「目指す姿」を明確に打ち出し、成果にこだわる取り組みを推進
- ③ **福祉関係計画との一体的な展開**や**県の基本施策との整合**を意識した計画改定
- ④ 社会福祉法人の公益的な取り組みの充実や社会福祉法の改正など、**地域福祉を取り巻く環境変化**を反映
- ⑤ 「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」を実現するための**SDGsの17の目標と関連付けた施策の推進**や**デジタル化の進展**など、社会経済情勢の変化を反映

# 誰も孤立しない支え合いの地域づくりのキ

## 地域のつながりや支え合いの力が弱まっています

全国より先行して本格的な少子高齢化・人口減少社会に突入し、中山間地域を多く抱える本県  
りや支え合いの力が弱まっています。

さらに、**8050問題**や**ヤングケアラー**などの複雑化・複合化した課題が増加するなど、従来の介護  
こうした生きづらさや困りごとは、決して限られた人だけではなく、環境の変化や物事のタイミングなどに  
地域のつながりや支え合いの力が弱まる中、何らかの理由で本人が相談や手続きをすることが難しく

### ○個人や世帯の困りごとが複雑になっています

#### 8050問題

80代の母親と同居する  
50代のひきこもりの子。  
母親が認知症になり、生  
活が成り立たない…



#### ダブルケア

子育てをしながら親の介護も  
している女性。  
頼れる親族もおらず、疲労  
が蓄積…



#### ごみ屋敷

一人暮らしで、ごみ出しや  
力仕事が難しい高齢者。  
誰にも頼むことができず、  
ごみ屋敷に…



#### ヤングケアラー

病気の親の介護やきょうだい  
の世話をする中学生。  
家族のことなので誰にも相談  
できず周囲から孤立…



孤独・孤立を見逃すと、虐待や自殺



だから… 高知県ではみんなで「高知型

## 高知型地域共生社会とは～「たて糸」と「よこ糸」で織りなす地域共生社会～

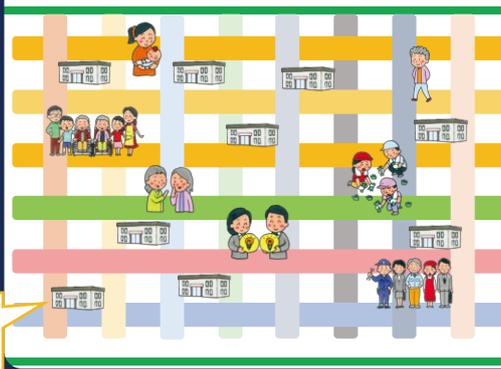
地域共生社会とは、**制度・分野ごとの「縦割り」**や**「支える・支えられる」という一方的な関係を超**  
**とで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会**です。

高知県では、**地域共生社会の拠点**としてあつたかふれあいセンターを活用しながら、行政主体の「た  
合**「高知型地域共生社会」の実現**を目指します。

### 柱1 行政主体の「たて糸」

包括的な支援体制の整備

高 障 子 困 教 女 住  
齢 害 ど も 窮 育 性 宅 税



### 柱2 地域主体の「よこ糸」

「つながり」を実感できる地域づくり

1

人と人のつながりの再生に向けた  
ネットワークづくり

- ソーシャルワークの網の目構築プロジェクト
- 「地域の見守り活動に関する協定」や「高知家地域共生社会推進宣言」の拡大など

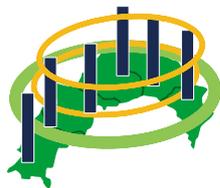
2

地域資源を活用した居場所や  
社会参加の場の拡大

- あつたかふれあいセンターでのオンライン診療
- 子ども食堂・農福連携など

3

県民の理解促進と参画意識の醸成



県内全域で展開！

地域共生社会の拠点として、  
あつたかふれあいセンターを活用

# キーワードは「高知型地域共生社会」

では、核家族化やデジタル技術の進展による人と人との接触機会の減少なども相まって、**地域のつながり**

や子育て、障害、住まい、生活困窮といった**縦割りの支援では対応できないケースが顕在化**しています。より、私たちの周りの身近な人、あるいは私たち自身にも起こりうることです。つたり、課題解決を自らあきらめてしまい、社会から孤立してしまう状況に陥ることは少なくありません。

## ○社会的孤立に陥るリスクの高い人が一定数存在します

- 家族や親類以外に相談する人がいないと答えた人の割合 **19.3% (R5)**  
(出典)「県民世論調査」(高知県広報広聴課)

## ○少子高齢化などにより地域のつながりが弱まっています

- 地域での支え合いの力が弱まったと答えた人の割合 45.7% (H26) ⇒ **53.9% (R3)**  
(出典)「県民世論調査」(高知県広報広聴課)
- 地域活動に参加している人の割合 63.2% (H26) ⇒ **43.2% (R5)**  
(出典)「県民世論調査」(高知県広報広聴課)
- 地域活動に「参加できない、したくない」と答えた人の割合 12.5% (H26) ⇒ **28.3% (R5)**  
(出典)「県民世論調査」(高知県広報広聴課)

など、さらに深刻な事態に陥ることも・・・



## 「地域共生社会」の実現を目指します！

高知家地域共生社会シンボルマーク  
県民みんながお互いに寄り添い支え合うことで、安心して暮らし続けることができる『高知家地域共生社会』の実現につながることを「こうち」の文字で表現

えて、**地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながるこ**  
**て糸」と地域主体の「よこ糸」の取り組みを進めることで、一人ひとりの力をつなげて、地域でともに支え**

### 行政主体の「たて糸」

**誰一人、制度の狭間に陥ることがないように、分野を超えた多機関協働型の包括的な支援体制の整備を推進**

- ・ 県や市町村による支援体制の整備や公的支援に加え、社会福祉法人や民間企業などが提供する制度サービスも含む概念

### 地域主体の「よこ糸」

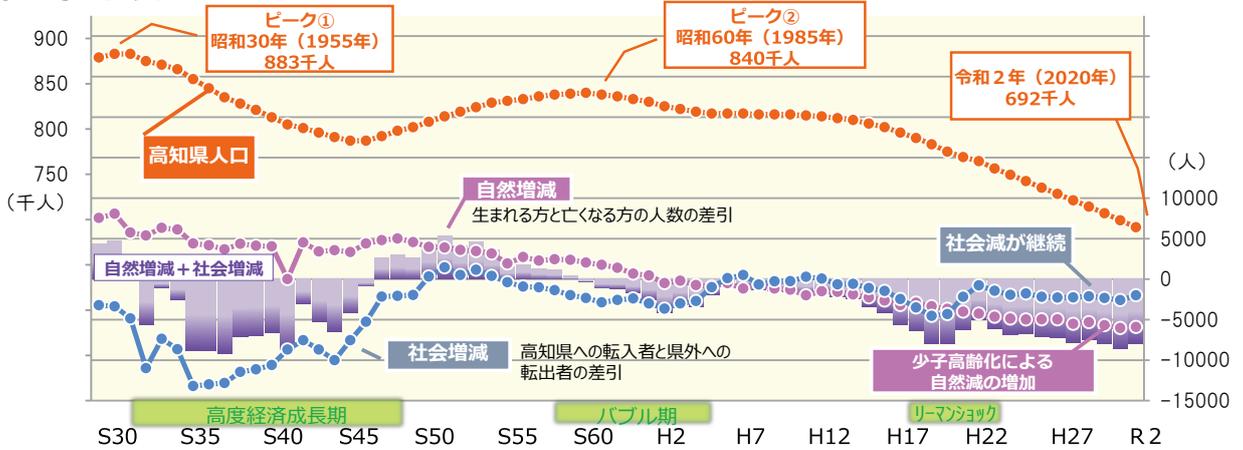
**地域のつながりや支え合いの力の弱まりに対応するため、「つながり」を実感できる地域づくりを推進**

- ・ 社会福祉法人や民間企業・団体、NPO法人、地域住民等様々な主体の参画による地域貢献・地域活性化の取り組み



## 1 高知県の人口見通し

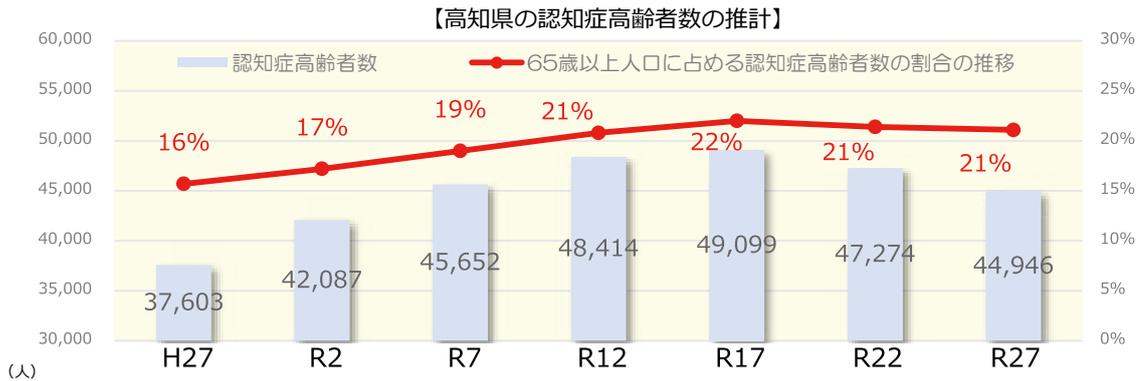
本県の人口は、昭和60年以降減少し続け、令和5年10月1日現在の推計人口は、国勢調査が始まった大正9年以降で最少の66万6千人余りとなり、**人口減少の流れに歯止めがかからない状態**となっています。



(資料) 総務省「国勢調査」「人口推計」「住民基本台帳人口移動報告」、厚生労働省「人口動態調査」、高知県統計分析課「高知県推計人口」

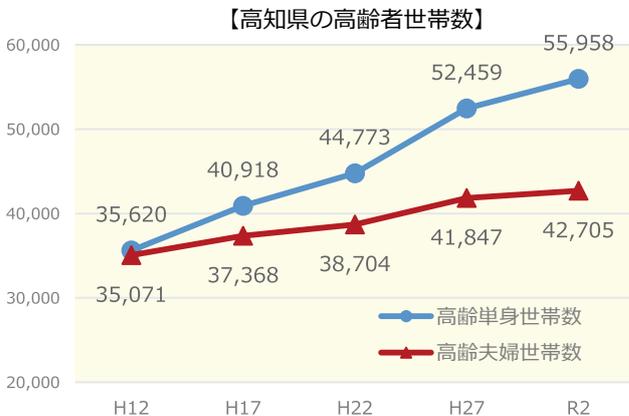
## 2 高齢化に伴う諸課題

本県の認知症高齢者は令和17年まで増え続け、**令和7年には65歳以上人口のうち約5人に1人が認知症**になると見込まれています。



(資料) 「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業)を基に推計

**高齢単身(独居)世帯数、高齢夫婦世帯数は、ともに年々増加**しています。

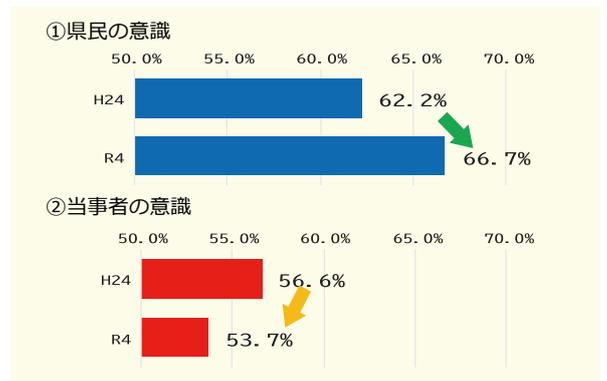


高齢単身世帯：65歳以上の一人のみの一般世帯  
 高齢夫婦世帯：夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの一般世帯

(資料) 総務省「国勢調査」

## 3 障害者福祉における課題

「障害のある人への周りの人の理解」については、県民全体では進んでいると感じているものの、**当事者は十分に進んでいるとは感じていない状況**にあります。

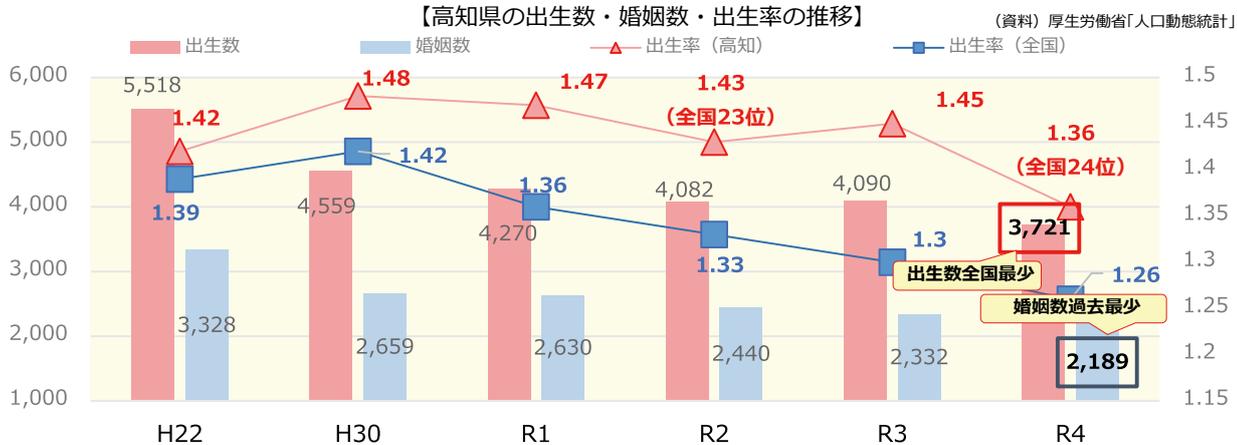


(資料) ①：県民意識調査、②：高知県障害者計画策定に向けたアンケート調査

# の現状

## 4 子ども・子育てにおける課題

これまでの子育て支援策の取り組みにより、**合計特殊出生率は全国よりも高い水準で推移**しています。その一方で、**令和4年の出生数は全国最少**となりました。この最も大きな要因には若年層（特に女性）の減少があると考えられます。



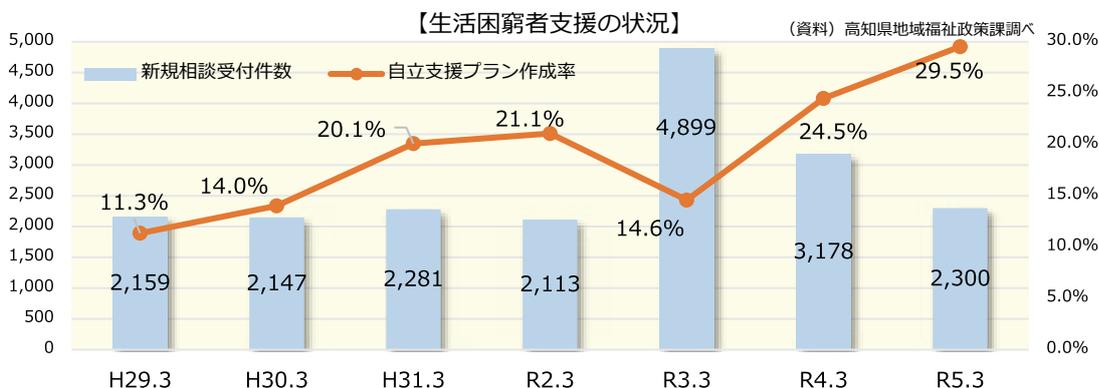
里親の登録者数や里親等への養育の委託率は徐々に拡大しています。

【里親等委託率等の推移】 (資料) 高知県子ども家庭課調べ

区分	H30	R1	R2	R3	R4
里親登録数 (組)	78	89	97	118	133
委託児童数 (人)	69	75	74	91	104
里親等委託率 (%)					
(高知県)	19.0	20.3	20.5	24.8	<b>28.8</b>
(全国)	20.5	21.5	22.8	23.5	未公表
児童養護施設等入所児童数 (人)					
(高知県)	295	295	287	276	257

## 5 生きづらさや困難を抱える人々への支援

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した方からの相談が増加しました。また、個別の支援計画である自立支援プランの作成率は上昇傾向にあります。



## 6 基盤づくり (あったかふれあいセンター)

あったかふれあいセンターは、令和5年4月時点で31市町村、55拠点254サテライトとなり、**ほぼ県内全域に整備**されました。

一方で、**利用者の半数以上が高齢者**であり、幅広い世代の利用につなげるための機能充実が課題となっています。

## 柱Ⅰ 「高知型地域共生社会」の実現に向けた包括的な支援体制づくり

### 目指す姿

誰一人、制度サービスの狭間に陥ることがないように、市町村の複合課題への対応力が向上し、各分野で業務効率化が図られている

#### 【主要目標】

・包括的な支援体制を整備している市町村数 24市町村 (R5) → 全市町村 (R9)

高齢者・障害者への支援

### 目指す姿

中山間地域を含め、高齢者が住み慣れた環境で安心して健やかに、ともに支え合いながらいきいきと暮らし続けることのできる高知県になっている

#### ○ 高知版地域包括ケアシステムの深化・推進 高知型地域共生社会の中核的な基盤

- 医療・福祉・介護サービス間の連携を強化するため、地域包括支援センターの効率的な運営や業務負担の軽減を支援するとともに、高知家@ライン等の情報連携の取り組みを推進します。

#### 【主要目標】

- ・要介護3以上の人の在宅率 43% (R4) → 50% (R9)
- ・中山間地域での在宅介護サービスの提供率 96.3% (R4) → 100% (R9)
- ・介護サービスが充足していると感じている人の割合 - → 70% (R9)



### 目指す姿

障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていける高知県になっている

#### ○ 障害の特性等に応じた切れ目ない支援体制の推進

- 地域における相談支援体制を支える「基幹相談支援センター」や、緊急時の受け入れ等の機能を担う「地域生活支援拠点」等の整備を推進します。
- 発達障害の早期発見・早期支援につながる仕組みづくりを促進します。
- 医療的ケア児及びその家族への支援のため、重症心身障害者・医療的ケア児等支援センター「きぼうのわ」での相談対応のほか、医療的ケア児等コーディネーターの派遣や支援力の向上を図ります。

#### 【主要目標】

- ・障害のある人の地域生活の支援体制が整備されている市町村数
  - ①基幹相談支援センター 10市町村 (R5) → 全市町村 (R9)
  - ②地域生活支援拠点 13市町村 (R5) → 全市町村 (R9)

こどもまんなか社会の実現

### 目指す姿

・安心して「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっている  
・子どもたちが誰一人取り残されず、夢と希望を持って成長できる環境が整っている

#### ○ 安心して妊娠・出産・子育てできる体制づくりの更なる強化

- 「こども家庭センター」の設置を促進し、妊産婦、子育て世帯、子どもに対する相談支援体制の充実を図ります。
- 安心して子育てができるよう、産後ケア事業の利用拡大や身近な地域における子育て支援サービスの充実を図ります。

#### 【主要目標】

- ・安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会になっている 22.9% (R5) → 50% (R9)
- ・こども家庭センターの設置 - → 全市町村 (R8)



#### ○ 厳しい環境にある子どもたちへの支援

- 虐待、不登校、ヤングケアラーなど困難な状況にある子どもたちを早期に発見し支援につなげるため、こども家庭センターの設置促進など、総合的な取り組みを進めます。
- ひとり親家庭が抱える様々な課題やニーズに対応するため、「ひとり親家庭支援センター」の相談体制などを強化するとともに、就業支援や養育費の確保に向けた支援の充実を図ります。

#### 【主要目標】

- ・里親等委託率 29.9% (R6.1) → 45.9% (R9)
- ・ひとり親家庭支援センターへの相談件数 1,600件 (R5見込) → 2,100件 (R9)

## 柱Ⅱ 「高知型地域共生社会」の実現に向けたつながりを実感できる地域づくり

**目指す姿** 地域で孤独を感じることなく、一人ひとりが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることができる高知県になっている

**【主要目標】**  
 ・孤独を感じる人の割合 20.7% (全国・R4) → 17% (R9) ・社会活動参加率 43.2% (R5) → 50% (R9)

高齢者、障害者の地域活動の推進

**目指す姿** 高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続け、また、地域を支える一員として元気に活躍できる社会になっている

### ○ 高齢者が地域でいきいきと暮らし続けられる仕組みづくり

- 高齢者の自立支援・重度化防止に向けて、地域の介護予防活動の推進と強化を図ります。
- あったかふれあいセンターと介護専門職との連携により、あったかふれあいセンターで要介護の人を受け入れる「高知方式」による新たな介護サービスモデルの試行など、特に中山間地域の高齢者が要介護状態になっても自立した日常生活を送ることができるよう支援します。
- 要介護状態を予防するため、地域住民が主体となって取り組むフレイル予防活動を促進します。

**【主要目標】**  
 ・新規要支援・要介護認定者の平均年齢 82.7年 (R3) → 83.5年 (R9)  
 ・生きがいづくりや介護予防のための通いの場への参加率 6.5% (R3) → 9% (R9)  
 ・ICTを活用した高齢者見守りネットワークを整備している市町村数 10市町村 (R5) → 15市町村 (R9)



**目指す姿** ・社会全体で障害や障害のある人への理解を深め、一人ひとりが必要な配慮ができていて  
 ・障害のある人の希望や特性等に応じた多様な働き方が実現できる社会になっている

### ○ 障害のある人もない人も安心して暮らすことができる地域づくり

- 市町村、事業者及び県民と連携しながら、こころのバリアフリーを推進し、誰もが安心して暮らすことができる環境づくりを進めます。
- 障害の特性に応じて安心して働ける体制の整備
- 農福連携の取り組みを拡大するため、地域の農福連携の取り組みの活性化を図るとともに、就労継続支援事業所に農作業を委託する農業者の拡大を図ります。

**【主要目標】**  
 ・障害者差別解消法の認知度 48.2% (R4) → 80% (R11)  
 ・農業分野で就労する障害のある人等の人数 1,645人 (R4) → 2,100人 (R9)

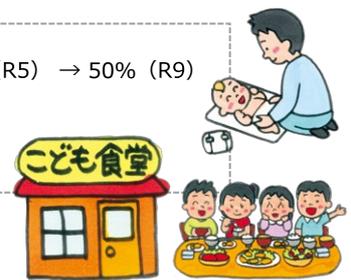
住民参加型の子育て支援

**目指す姿** 社会全体で子育てを応援する環境と共育でが定着し、「孤」育てを感じさせない社会になっている

### ○ 住民参加型の子育て支援の推進

- 子育て家庭の孤立を防止し、安心感を高めるため、ファミリー・サポート・センター事業や地域ボランティアの推進など住民参加型の子育て支援を推進します。
- 社会全体で子育てを応援する「こどもまんなか社会」を実現するため、子育て支援サービスの提供や商品開発などに取り組む企業への支援のほか、子育て応援アプリの活用による子育て支援サービスや「こうち子育て応援の店」の利用促進を図ります。
- 共働き、共育を応援するため、男性育休取得促進や仕事と家庭の両立支援に取り組む企業を支援します。
- 「保護者の孤立感や負担感を軽減する場」となる子ども食堂の取り組みの拡大を図るなど、子ども・家庭支援の充実を図ります。

**【主要目標】**  
 ・安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」ができる社会になっている 22.9% (R5) → 50% (R9)  
 ・男性の育児休業取得率 28.7% (R5) → 64% (R9)  
 ・子育て応援アプリDL件数 37,728件 (R6.2末) → 65,000件 (R9)  
 ・こうち子育て応援の店の登録店舗数 742店舗 (R6.1.15) → 1,100店舗 (R9)  
 ・子ども食堂の設置箇所数 107箇所 (R5) → 150箇所 (R9)



## 柱Ⅰ 「高知型地域共生社会」の実現に向けた包括的な支援体制づくり

生活困窮を抱える人への支援	<p><b>目指す姿</b> 生活困窮者やひきこもりの方など生きづらさを抱える人などが、必要な支援を受け、孤立することがない社会になっている</p>
	<p><b>生活困窮者への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ禍で浮き彫りとなった生活困窮者を支援するため、現在未実施となっている、一時生活支援事業などの積極的な実施や、生活困窮者の早期把握等に有効な多機関協働型の支援会議の実施により、支援体制の充実・強化を図ります。</li> </ul> <p><b>【主要目標】</b> ・ 自立支援計画（プラン）の策定率 29.5%（R5） → 50%（R9）</p>
	<p><b>ひきこもりの人等への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ひきこもりの人やその家族が抱える複合的な課題の解決に向けて、地域の多機関の協働による支援体制づくりを引き続き支援します。</li> <li>● 相談窓口の多様化を図るため、専門職等による相談支援機関に加え、ひきこもりの経験がある人（ピアサポーター）等による相談支援の充実を図ります。</li> </ul> <p><b>【主要目標】</b> ・ 居場所等の支援につながった件数 延べ298件/年（R4） → 延べ300件/年（R9）</p>
	<p><b>自殺予防対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自殺は、誰もが当事者になり得る重大な問題であるという認識を広く浸透させるため、自殺に関する正しい認識の普及啓発を推進します。</li> </ul> <p><b>【主要目標】</b> ・ メンタルヘルスに関する情報発信HPの閲覧件数 - → 累計100,000件（R9）</p>
	<p><b>様々な困難を抱える女性への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 男女共同参画の推進や固定的な性別役割分担意識の解消、女性に対する暴力根絶、性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルスアンドライツ）についての知識の向上及び県民意識の醸成を図ります。</li> <li>● 支援の中核を担う女性相談支援センターの相談支援機能の強化・充実を図るとともに、女性相談支援員等の資質向上を図ります。</li> </ul> <p><b>【主要目標】</b> ・ 市町村における女性相談窓口の設置 - → 全市町村（R9）</p>



## 柱Ⅲ 「高知型地域共生社会」を支える人づくり・基盤づくり

**目指す姿** 支え合い

人づくり	<p><b>目指す姿</b> 多様な人材が支え手となって地域で活躍し、必要な福祉・介護職員が確保されている</p>	<p><b>【主要目標】</b> ・ 福祉教育・ボランティア学 ① 検討開始 - → 34市町 ② 拡大に向けた取り組みを ③ 協同実践の拡大 - →</p>
	<p><b>福祉教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 若い世代など地域住民の「共に生きる」ことの意識を広げるため、高知県社会福祉協議会など関係機関</li> </ul> <p><b>福祉・介護人材の確保対策の推進と介護現場の生産性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員の負担軽減やサービスの質の向上を図るため、ノーリフティングケアの普及やデジタル化、経営</li> <li>● 職員が段階的にスキルアップしながら長く活躍できる魅力ある職場づくりを推進するため、育成体系、制度の普及を図ります。</li> </ul>	
基盤づくり	<p><b>目指す姿</b> 世代や属性を超えて、地域の多様な方が幅広くつながり、支え合う地域資源が整備されている</p>	
	<p><b>あったかふれあいセンターの整備と機能強化</b> <span style="background-color: #f08080; padding: 2px;">高知型地域共生社会の拠点</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者や子ども、障害のある人、ひきこもりの人など幅広い世代が多用途に利用できるよう、ネット</li> </ul> <p><b>その他生活基盤の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中山間地域の「活力を生む」取り組みとして、「集落活動センター」などの集落の維持・再生に向け</li> <li>● 住宅の確保に配慮を要する人が、円滑に入居できるように、住宅及び福祉分野が連携した居住支援を</li> </ul>	

各分野で目指すSDGsのゴールを掲げると

### 目指す姿 地域の多様な主体の参画と、つながりの再生に向けたネットワークが構築されている

#### ○ つながりを実感できる地域づくり

- ソーシャルワークの網の目構築プロジェクトの拡大など、人と人とのつながりの再生に向けたネットワークづくりを進めます。



##### 【主要目標】

- ・地域の支え合いの力が弱まったと感じる人の割合 53.9% (R3) → 50%以下 (R9)

#### ○ 民生委員・児童委員活動や民間事業者と連携した地域の見守り活動などの充実

- 各市町村における民生委員活動の負担感の軽減や担い手確保に向けた取り組みを強化するほか、地域見守り協定等を活用し、官民の枠を超えた見守りネットワークの重層化を図ります。

##### 【主要目標】

- ・「高知県における地域の見守り活動に関する協定」締結企業数 25社 (R5) → 40社 (R9)



#### ○ 社会福祉法人等による地域における公益的な取り組みの推進

- 移動支援や配食サービスなどの取り組みについて、県内の好事例の横展開を図り、社会福祉法人の地域における公益的な取り組みを促進します。

#### ○ 防災・減災対策と地域福祉活動との一体的な推進

- 災害時の共助の取り組みを強化するため、自主防災の組織化と各市町村の自主防災組織連絡協議会の設立を支援するほか、被災者への細やかな支援の実施に向け、災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営が円滑に行われる体制づくりを推進します。

##### 【主要目標】

- ・自主防災組織の活動実施率 39.1% (R4) → 100% (R9)
- ・災害ボランティアセンターの体制強化 ①訓練実施：17市町村 (R5) → 全市町村 (R9)  
②協定締結：13市町村 (R5) → 全市町村 (R9)



#### ○ 人権を尊重し認め合う共生の意識の浸透

- 全ての人々が自分らしい生き方ができる、尊厳を持ったかけがえのない存在として尊重される社会の実現を目指し、「人権施策基本方針」に基づき様々な人権問題に関する教育や啓発、相談体制の充実を図ります。

##### 【主要目標】

- ・「あなたは、国民一人ひとりの人権意識は、4～5年前に比べて高くなっていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）」の割合 43.5% (R4) → 60%以上 (R9)

その他多様な主体の参画による「よこ糸」の取り組み

### の地域づくりに必要な地域資源があり、必要な人材の確保がなされている

習における関係機関との協同実践に取り組む市町村数

実施 - → 25市町村 (R9)  
17市町村 (R9)

- ・不足が見込まれる福祉・介護職員の充足率 - → 100% (R8)
- ・介護事業所のICT導入率 38.6% (R4.11) → 60% (R9)
- ・認証福祉・介護事業所数 223事業所 (R6.3.1) → 550事業所 (R9)

関と連携し、福祉教育・ボランティア学習に関わる人材育成や実践の拡大を推進します。

の大規模化など、介護現場における生産性向上に取り組む事業者を支援します。

キャリアパスの構築に向けた県全体の福祉研修体系の再編や、高知県福祉・介護事業所認証評価



##### 【主要目標】

- ・地域の居場所としての参加人数 (あったかふれあいセンター機能のうち、集い+交わる+学ぶの参加者実人数) 15,130人 (R5) → 20,000人 (R9)
- ・あったかふれあいセンター「相談」のべ利用回数 5,898回 (R5) → 8,000回 (R9)

ワーク環境を整備し、遠隔地にいる支援者との連携やオンライン上での利用者同士の交流等を推進します。

た仕組みづくりを進めます。  
推進します。

もに、積極的にデジタル技術を活用

誰一人取り残さない、  
つながり支え合う 高知型地域共生社会

発行・編集

高知県子ども・福祉政策部地域福祉政策課

〒780-8570

高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号

TEL:088-823-9840 FAX:088-823-9207

E-mail:060101@ken.pref.kochi.lg.jp

URL:<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060000/060101/>